

- 1 団体名 横瀬剣友会
- 2 代表者 高橋徹也
- 3 会員数 剣友会員 男子15名 女子2名
スポ少団員 男子13名 女子4名
- 4 稽古日
毎週 火・金曜日（一般の部 毎月第1・2・3月曜日）
時間 午後7時から9時まで
場所 横瀬中学校剣道場

- 5 団体の歴史 昭和48年10月発足
 - * 歴代会長 初代 神辺清作 (S48. 10～S55. 3)
 - 2 黒澤清治 (S55. 4～ H15. 2)
 - 3 高橋徹也 (H15. 3～現在)
 - * 剣道スポーツ少年団 発足 昭和48年10月
 - 歴代団長 初代 神辺清作 (S48. 10～S55. 3)
 - 昭和55年 責任指導者 黒澤清治・柏木信久
 - 2 浅見隆男 (S59. 4～S62. 3)
 - 3 水村都正 (S62. 4～H12. 3)
 - 4 高橋徹也 (H12. 4～H30. 3)
 - 5 鳶崎正昭 (H30. 4～現在)

横瀬剣友会は、横瀬小学校教諭の神辺清作氏（教士7段）を中心に愛好者約10名が集まり発足、同時に剣道スポーツ少年団も設立され、半世紀を迎えようとしている。

剣友会員は指導者として次代の剣士育成のため、スポーツ少年



団員に基本練習を中心に指導にあたり、他方で一般の部として稽古日を設けて互角稽古を行い、心身

の錬成を図っている。

神辺先生の転勤により指導者不足のため挫折寸前に追い込まれたが、柏木信久（4段）更に水村都正（4段）らが次々と指導者に加わり継続することができた。団員数も多いときは30名を越す入団もあったが、現在の少子化により入団を希望する団員は減少の一途をたどっている。しかし、剣道を通じて正しい心を養い健全な青少年の育成を目標とし、偏りがちな勝利主義でなく、礼法を重んじた人づくりであることを基本理念として日々、育成指導に邁進している。

令和元年度には長年の活動が認められ、（公財）全日本剣道連盟より「少年剣道教育奨励賞」を受賞した。

発足当初は各地域の大会に出場し優秀な成績を取めた。（赤岩伸洋（教士7段）上里町在住・大野久雄（5段）・浅見隆男（3段）他）また、昭和51年には、高橋徹也（教士7段）は第16



回関東七県対抗剣道大会に出場し埼玉県は準優勝の成績を取めた。更に、関根修（錬士6段）、浅見升三（錬士6段）は、外国人への剣道・居合道普及の国際交流に尽力し、ロベルトコラサンティ（錬士6段）ら多くの外国人剣士を誕生させた。

今日の剣友会の隆盛をもたらした第一人者として偲ばずにはいられない剣士は、黒澤清治氏（錬士7段）である。絶大な指導力と不断の努力により実を結んだ功労に感謝いたします。また、大島邦介氏（錬士6段）も抜群の運動センスで高段位に昇段し、指導者となる傍ら剣道具店を開業し、剣道用品の専門店として多くの人から重宝され、愛された。

現況、若年層の男子のみならず女性も入会し、にぎやかな稽古日となり、他の剣友会と肩を並べられるところまでに至った。今後も剣道最大の魅力である「生涯剣道」として老若男女問わず、共に汗を流し、人間形成に励みたい。